

三鷹市立大沢台小学校 令和5年度【国語】科 授業改善推進プラン

	前年度授業改善推進プランの検証	学習状況の現状と課題	指導方法の課題と授業改善策
第1学年	<p><b>(成果)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>宿題として作文を出したことで、自分の思いや考えを表現する力が高まった。</li> <li>連絡帳やノート指導で、片仮名や習った漢字を意識的に使わせることで、文の中で正しく使えるようになってきた。</li> <li>図書館司書と連携し、図書館の時間に学習に関係する読み聞かせが実施できた。また本から自分が知りたいことを見付ける学習も行い、学習内容の理解を深めたり、広げたりできた。</li> </ul> <p><b>(課題)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>話を最後まで聞くことや発表に適した声の大きさを話してあげることができていない児童が多い。</li> </ul>	<p><b>(学習状況の現状と課題)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ひらがなを正しく読んだり、書いたりすることができるようになってきている。</li> <li>長音や促音、拗音、句読点、まだ正確に書けていない児童が見られる。</li> <li>自分で文を書くときの行替えやマス空けはまだ不十分である。</li> <li>話を最後まで聞くことや発表に適した声の大きさを話してあげることができていない児童がいる。</li> <li>学習した内容を日常生活の場面と関連させたり、日常生活の中で使った学習を広げたりすることは、自力では難しい児童がいる。</li> </ul>	<p><b>(指導方法の課題)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>話す、聞く、読む、書くの基礎指導を継続して行う必要がある。</li> <li>自分の考えをもち、文で書き表したり、言葉で伝えたりする力を伸ばす指導を行う必要がある。</li> <li>学習内容を他教科や日常生活に結び付ける、意図的な指導が必要である。</li> </ul> <p><b>(授業改善策)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎作文や感想を書く活動では、ICT機器などを活用して、例文を示したり文型を指導したりすることで文の書き方の基礎を身に付けさせる。</li> <li>◎聴写を行ったり、作文指導を継続的に行ったりすることで、書字に慣れさせ、長音や促音、拗音、句読点の定着を図る。</li> <li>◎少人数グループで自分の考えを伝え合う活動を取り入れ、話し合いの基礎をつくる。</li> <li>◎図書時間を中心に、授業で扱った教材に関する本を授業と合わせて並行読書することで、意欲的に読書に取り組むことができるようにする。</li> </ul>
第2学年	<p><b>(成果)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>どの教科でも、漢字や基本的な文型、語彙など、学習したものを活用することで、基礎的な力は伸ばすことができた。</li> <li>意見を伝えるときは理由を付け加えることを意識させることで、他教科でも自然に、理由をつけて発表ができるようになった。</li> </ul> <p><b>(課題)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>調べ学習の際に、すぐに学習用タブレット端末を使いたがる傾向がある。本や図書館を利用するよさを、今後も継続して学ぶ必要がある。</li> </ul>	<p><b>(学習状況の現状と課題)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>漢字学習への取り組み方や定着度は個人差がある。漢字の学習量が増えるとともに、漢字の意味を含めて正しく覚え、文の中で正しく使うことが難しくなっている。</li> <li>自分の考えをもつことはできている。友達と伝え合う中で考えを広げたり深めたりすることが課題である。</li> <li>読書への取り組みや言語感覚については個人差が大きい。</li> </ul>	<p><b>(指導方法の課題)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>漢字などの文字学習や文型、作文用紙の使い方など基礎的な指導を教科書の学習と併せて計画的に行っていく必要がある。</li> <li>ノート指導やワークシートの形式を工夫する等、指導の個別化や学習の個性化を意識した授業づくりを行う必要がある。</li> </ul> <p><b>(授業改善策)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎低学年の間に基礎的な知識を身に付けられるよう、他教科でも繰り返し学習していきながら学習計画を工夫する。</li> <li>◎自分の考えを根拠をもって伝えたり、お互いの考えのよいところを見付け、伝え合ったりする学習を意図的に取り入れる。</li> <li>◎朝読書の時間や国語の時間を中心に、読書の感想や言葉遊びなどを交流し、幅広い言葉や情報と触れ合える場を設定して、正しく美しい言葉を生み出させていく。</li> </ul>
第3学年	<p><b>(成果)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>間違えが多い漢字をテストに出題することで、繰り返し練習できた。</li> <li>文章を見直し、間違えに気づく習慣が身に付いた。</li> <li>友達を紹介した本に興味をもつ児童がいた。</li> </ul> <p><b>(課題)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>漢字は時間が経つと忘れてしまう傾向があった。</li> <li>友達の発表を聞くときに、自分の考えと比べる意識が低い。</li> </ul>	<p><b>(学習状況の現状と課題)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>前年度に配当されている漢字が正しく身に付いていない児童がおり、新出漢字に対しても苦手意識が高い。</li> <li>文章を順序立てて書くことができる児童が多いが、内容を詳しく書いたり、会話を盛り込んで書いたりすることが不十分である。</li> <li>本を楽しみながら読んでいる児童が多い。しかし、本のジャンルは固定化していて、読書の幅が広がっていない児童もいる。</li> </ul>	<p><b>(指導方法の課題)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>漢字の学習では、新出漢字の練習が主になっている。</li> <li>文章を書くときは、文章を構成することに意味するのではなく、時間の中で書き終えることに満足している児童が多い。</li> <li>図書の本の貸し出しでは、自分の読みたい本を2冊借りている。</li> </ul> <p><b>(授業改善策)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎漢字小テストは既習の漢字も取り入れるテストを手作りして実施する。</li> <li>◎文章を書く学習では、自分で推敲する時間とともに、友達同士で読み合う時間を確保し、文章を高め合えるようにする。</li> <li>◎図書を貸し出しでは、違うジャンルの本を2冊借りるように指導する。図書時間には、教師の読み聞かせだけでなく、児童が読んでおもしろかった本を紹介する時間を設ける。</li> </ul>
第4学年	<p><b>(成果)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>辞書を引く活動にゲーム要素を入れたことで、辞書に親しむことができた。</li> <li>読書カードの活用や調べ学習、教員による読み聞かせ、児童によるおすすめ本の紹介を行うことで、様々な本に触れる機会を設けることができた。</li> </ul> <p><b>(課題)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>文章の構成を意識させたり、文章校正の時間を確保したことで、文章の書き方を知り、正しく書く力が身に付いてきている児童が多い一方、個別に指導をしても不十分な児童がいる。</li> </ul>	<p><b>(学習状況の現状と課題)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>漢字練習への取り組み方に差があり、漢字を正しく読み、書ける児童が3割程度しかない。また、熟語を正しく読み、音読みか訓読みかを選択したりできる児童は6割程度である。</li> <li>国語辞典の正しい使い方を理解できている児童は、2割に満たない。</li> <li>文章の読解力は付いてきている児童が増えてきたが、経験したことや自分の考えを表現したり、書きたいことの中心を明確にしながらかきいたりすることを苦手としている児童が多い。</li> <li>読書の意欲に二極化が生まれ、読書量に差がある。</li> </ul>	<p><b>(指導方法の課題)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>朝の会などでスピーチをするなど定期的に自分の思いや考えを伝え合う時間が必要である。</li> <li>書くことにおいての基本的な知識の定着が図れていない。</li> <li>漢字学習への取り組み方を変更する必要がある。</li> <li>個々に合った本を紹介する時間を設定する必要がある。</li> </ul> <p><b>(授業改善策)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎話し方、聞き方の学習の中で、自分の考えを述べたり、他者の発言を集中して聞いたりできるように、「聴写」を取り入れたりして、他者の発言を聞いた後の学習活動をあらかじめ設定する。</li> <li>◎短冊や付箋等を活用しながら、書きたいことの中心を明確にし、文章構成を意識させる。一人ひとりが書きたいという思いをもてるような指導を行う。</li> <li>◎タブレットや漢字辞典を活用して新出漢字の書き順やとめ・はね・はらい、読みを丁寧に指導するとともに、熟語や音読み、訓読みの違いも意識させる。意味が分からない言葉は国語辞典でその都度調べる習慣を付け、辞書の使い方を理解させる。</li> <li>◎定期的に本の紹介をしたり、おすすめ本の紹介カードを掲示したりすることで児童が意欲的に読書できる環境をつくる。</li> </ul>
第5学年	<p><b>(成果)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>図書館司書のサポートを受けて、本の紹介をしたりすることで、隙間時間に読書をする児童が増えた。</li> <li>話すことにおいて、自分の考えとその根拠や理由を明確に示して話すことができる児童が増えた。</li> </ul> <p><b>(課題)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分の考えを文章にして表現することが苦手である。簡単な短文程度でしか表現できない児童が多い。</li> <li>聞くことにおいて、友達や考えや説明をじっくりと聞くことが苦手である。すぐに周囲の友達と話をしたり、手遊びをしまったりしてしまったり、雑に書いたり書字の乱れが多い。</li> </ul>	<p><b>(学習状況の現状と課題)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学力調査の結果から、特に文章の内容を正確にとらえることに課題があることが分かった。また、指示語の役割の理解にも課題がある。</li> <li>漢字を日常的に、正確に使う意識が低い。漢字練習も丁寧に書いていないことが多い。</li> <li>物語文の学習では、時や場所を表す言葉を見付け出し、物語の展開を整理することができている。また、中心人物の心情の変化とそのきっかけをつかもうとしている。</li> <li>自分の考えに根拠をもって主張することに苦手意識をもっている児童がおり、話し合いに生かすことができていない。</li> <li>説明文の学習では、序論・本論・結論に分け、筆者の伝えたいことが結論に多く書かれていることを理解できている。</li> </ul>	<p><b>(指導方法の課題)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>漢字の練習はこなすものと考えている児童が多くいる。意欲が低い。</li> <li>自分の考えを表現する前に、十分に考える時間をとったり、言葉を知ったりする必要がある。</li> <li>文章読解では、文章の内容や、事実と意見を区別しながら読んでいく力を伸ばす必要がある。</li> </ul> <p><b>(授業改善策)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎新出漢字の学習では、漢字の意味を成り立ちから理解するような指導をするとともに、それぞれに合った漢字の覚え方を提案していき、楽しく達成感のある漢字の習得を目指す。</li> <li>◎単元ごとに、どんな学習をしたいかを児童に考えさせたり、選択をさせたりすることで主体的に学習に取り組めるようにする。</li> <li>◎説明文は、読み方を丁寧に指導するとともに、それを生かして自分でも説明文を書く活動を行うことで文章の内容を理解できるようにする。</li> <li>◎定期的に本の紹介をしたり、授業と関わる本の活用をしたりすることで児童が意欲的に読書できる環境をつくる。また、図書館司書と協力をして、読み聞かせや学習の工夫をしていく。</li> </ul>
第6学年	<p><b>(成果)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>書いたり、話したりする前に、十分に考える時間を確保したことで、自分の伝えたいことをはっきりとさせることができた。</li> <li>社会科や総合的な学習の時間の内容に関連して、学校図書を有効に活用できた。それぞれが選んだ戦争の物語などを読み、自分の考えを伝えることができた。</li> </ul> <p><b>(課題)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>既習漢字を使えない児童が3割以上いて、一人ひとりに合った指導には課題が残った。</li> </ul>	<p><b>(学習状況の現状と課題)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>漢字を日常的に使う意識が低く、既習漢字を使えない児童がいる。</li> <li>考えの根拠を示したり、本文を引用したりして表現することは個人差が大きい。</li> <li>伝えたいことを明らかにしたり、大事なところを落とさずに聞いたり書いたりすることが課題である。</li> <li>物語文の学習では、登場人物の気持ちを叙述を基に考え、意欲的に発表することができている。</li> <li>読書の意欲に二極化が生まれ、読書量に差がある。</li> </ul>	<p><b>(指導方法の課題)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>漢字学習は、全体での学習に加え、一人ひとりに合った覚え方を示していく必要がある。</li> <li>自分の考えを書いたり、話したりする前に、十分に考える時間をつくる必要がある。</li> <li>読書の時間を増やすだけでなく、読書を楽しめるような工夫をする必要がある。</li> </ul> <p><b>(授業改善策)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎新出漢字の書き順やとめ・はね・はらい、読みを丁寧に指導するとともに、それぞれに合った漢字の覚え方を提案していき、楽しく達成感のある漢字の習得を目指す。</li> <li>◎書いたり、話したりする前に、短冊や付箋等を活用しながら、伝えたい内容の中心を明確にし、文章構成を意識させる。</li> <li>◎定期的に本の紹介をしたり、おすすめ本の紹介カードを掲示したりすることで児童が意欲的に読書できる環境をつくる。また、図書館司書と協力をして、読み聞かせや学習の工夫をしていく。</li> </ul>